

第 19 号編集委員

松澤泰道	(数学教育)	(委員長)
谷塚光典	(教職大学院)	(副委員長)
篠崎正典	(社会科教育)	
蛭田 直	(美術教育)	
村松浩幸	(附属次世代型学び研究開発センター)	
森下 孟	(附属次世代型学び研究開発センター)	
佐藤和紀	(附属次世代型学び研究開発センター)	
西村良穂	(附属長野小学校)	

[表紙について]

「教育実践研究」は、人間・実践・情報の3分野から構成された教育実践総合センターの発足により2000年7月に創刊され、改組後も教育実践を重視する趣旨が変わらないことから、次世代型学び研究開発センターに引き継がれた。表紙等のデザインは、創設期からの実績を尊重し今後の発展を祈って、当時のものをそのまま継承している。次の文章は創刊当時に表紙をデザインして下さった橋本光明先生の言葉である。

人間・実践・情報の各分野は、教育の三嶺であり銀峰である。右から「人」「実」「情」の稜線や沢筋が、新しい教育実践総合センターを織りなす有機的な山容をつくりあげ、教育理念が天空につながることを祈りつつ表現した。

今、陽が昇る。各分野の山巒が斜光線によって輝き、21世紀の光と風の中で山(三)体が充実、発展しながらそれぞれの色合いを増していく。

信州大学名誉教授 橋本 光明

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター紀要

『教育実践研究』

第19号

Studies on Educational Practices

発行日：2020年(令和2年)12月25日

編集・発行者：信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター

〒380-8544 長野市西長野6のロ

事務室：026-238-4242(crilofc@shinshu-u.ac.jp)

Homepage <https://cril-shinshu-u.info/>

この紀要は、本文に再生紙(古紙配合率70%以上、白色度70%以下、総合評価点80点)を使用しております。